

ハーブを用いて安全なイチゴ作り

イチゴ栽培では、カブリダニ類を利用したハダニ対策が普及していますが、アブラムシ類を対象とした農薬により、カブリダニ類の定着や増殖に悪影響が及んでいます。そこでムラサキ科の植物であるポリジを天敵誘引植物として用い、アブラムシに寄生するアブラバチを活用する方法を確立しました。ポリジはイチゴに寄生するハダニ類の発生源にならず、またポリジに寄生したワタアブラムシのほとんどが、イチゴに寄生しなくなる性質を見出しました。



ポリジは長日条件で開花が促進されるため、秋まき（10月以降）で最も開花まで日数が長くなり、天敵誘引植物としての利用価値が高まります。

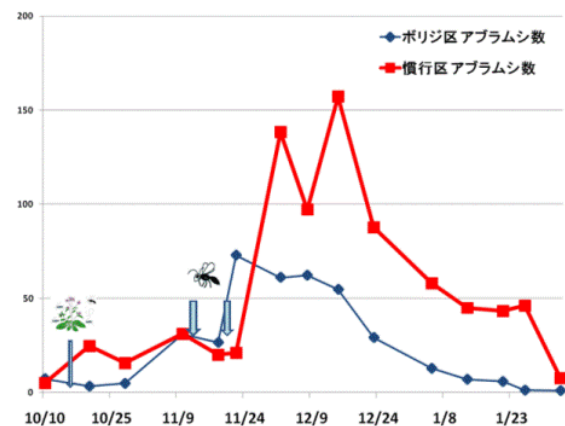
	5/30	6/9	6/19	6/30	7/10	7/22	7/30	8/10	8/20	8/29
アブラバチマミー	2	4	1			3		2		
アブラコバチマミー	7	12	31	35	64	20	12	63	3	
クサカゲロウ成虫		17								
クサカゲロウ幼虫			2		1					
クサカゲロウ卵		10	24	8		4				
ヒラタアブ幼虫			2	1	2	7	2			
ヒメカメノコテントウ	1	1								
クロヘリヒメテントウ					1		2			
ショクガタマバエ			1	110	23	13				
ナミヒメハナカメムシ	1	3	2	4	3		2	2	6	
オオメカメムシ			1			1			3	
カブリダニ類	1	4			2			2	3	
タカラダニ										
クモ類				8						

ポリジにはアブラバチだけでなく複数の土着天敵がアブラムシに寄生したり捕食するために集まってくるので、春夏作の育苗管理にも利用できます。

(農林総合研究センター



ワタアブラムシの誘引力が強く、それに伴いアブラバチがたくさん寄生して、マミー（アブラムシのミイラ）を形成します。



ポリジを設置してアブラバチを放飼した区では、アブラムシ類の密度が低く維持され、慣行の3分の1の農薬使用量で、同等の収量・品質が得られました。

病害虫防除技術担当 TEL 0480-21-1114)